

平成 29 年度 事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

当社団では、2006 年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方を広めていながら、「社会の課題を解決していこう」と挑戦されている方、これから挑戦しようとしている方の事業を応援するために、そうした挑戦者を応援したいとお考えの方々から資金をお預かりし、その基金からの出資と経営のアドバイスをを行います。今年度は、特にみんなの夢 AWARD との連携を図りながら、ソーシャルビジネスに挑戦しようとしている人（出資を希望しているの方々）たちを応援しました。下記、本年度の事業報告です。

(1) 当事業年度の計画

イベント企画への参加、セミナー／シンポジウムへの参加など積極的に活動を展開しました。

■みんなの夢 AWARD 共催として実施

みんなの夢 AWARD 8 に（共催）として参加しました。「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードであり、夢アワードのプレゼンターは協賛企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっています。このような仕組みで、社会の課題を解決する事業に挑戦する社会起業家を応援することを目的としています。当社団では、「ソーシャルビジネス」の事業資金として最大 2,000 万円を支援しました。

【みんなの夢 AWARD 8 開催概要】

日時：平成 30 年 2 月 26 日（月）

共催：一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

主催：公益財団法人みんなの夢をかなえる会他会場：舞浜アンフィシアター

参加者：2,200 人

■みんなの夢 AWARDin 陸前高田共催として実施

日時 3 月 17 日(土)

主催 みんなの夢 AWARDin 陸前高田実行委員会

参加者 300 名

（２）出資に関して

ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方に沿う事業に対しての「出資」の検討を行いました。事務局、専門家からのアドバイスのもと、出資希望者からの面談を行いました。当団体が主催する、みんなの夢 AWARD 8 / みんなの夢 AWARD in 地方版 のファイナリストの中よりソーシャルビジネス候補を選定し、1 社の出資を実施しました。

（３）出資先の経営参画

現在 3 社に出資しています。段階的に、ソーシャルビジネスの株主構成についても進化させています。一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 1 号となった、Japan Aqua Enterprise は、ほぼ 100%に出資してソーシャルビジネス会社を設立しています。2 社目となった、(株)Prima Pinguino については、株主構成 90%を出資し、社長の藤岡氏と既存の株主にも一部出資をしています。3 社目の(株)リンクリンクについては、1200 万円の資本金のうち、1000 万円を同ファンドと経営者の大津氏にも出資します。このように、当団体の株主出資だけでなく、なるべく多くの株主にソーシャルビジネスの株主として参加を募り、一人でも多くのステークホルダーに参画して頂くようにしています。

①Japan Aqua Enterprise

今後の事業方針 JAE の本来の事業である、バングラディッシュ農村地区に飲料水提供事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、JICA の支援の下、展開、また事業が進み、新たに BtoB 事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、農村地区に出前ビジネスとして展開。新たに、海水を飲料水にする為の人力海水淡水化装置に投資する。バングラディッシュのテロ事件以降、事業が止まっている。

代表取締役会長：勝浦 雄一

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

取締役：小田剛士（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 監事）

1. Japan Aqua Enterprise (JAE) 社の目指す今後の方向性
2. JAE 社の CC 組立事業：NBC の技術指導を受けているバ国企業を外注先として活用し CC の組立事業を展開する。現地自転車組立会社やフィルター販売などの水処

理会社との提携関係も強化し事業領域を拡大する。

3. JAE 社の CC の販売事業：主要販売チャネルとして次の2チャネルを想定している。

4. BtoB の具体的展開策：CC を「移動式小規模分散型浄水場」と位置付け、「出前式浄水場」を運営面で NGO と提携し、バ国に於ける最大の課題である「水汲みと言う女性にとっての重労働」からの解放を目指す。

5. Grameen Veolia との提携：Grameen グループのソーシャルビジネス会社 Grameen Veolia 社の固定式管路給水事業で目指す 10 万人給水（管路給水である為 10 Km の範囲しか給水できない）の補完する形で提携を目指す。

② (株)Prima Pinguino

プロジェクト：統廃合の危機にある離島中山間、地域の高校魅力化を通じた地域の活性化プロジェクト

代表取締役：藤岡 慎二 (ふじおか・しんじ)

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

課題：離島中山間地域は人口減少に伴い少子高齢化している。少子化で高校の生徒数は減少し離島中山間地域の高校ほど統廃合の危機に瀕している。

目標：高校が魅力化することで、統廃合の対象だった高校が、生徒数が安定し、離島中山間地域も高校を中心に活性化されている。

事業概要：少子化が進む離島中山間地域の高校の魅力化を通じて、地域の活性化を図る。高校の魅力化は①新感覚の寮生活、②高校の授業内容の変更、③公営塾の設立・運営を通じて実施する。生徒は地域内だけでなく、全国や海外から生徒を募集する。

出資金額：1,000 万円

【当期】魅力化プロジェクトの学校が 10 校と大幅に拡大し、事業として成功をおさめた。利益も確保し、4 期連続で配当が出る予定。

③(株)リンクリンク

プロジェクト：“職・食・住”日本初シングルマザーをトータルで支援する。一人でも多くのシングルマザーの「子ども達」に夢と希望の未来を！！

代表取締役：大津たまみ

取締役 中川直洋(一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 専務理事)

課題：現在全国にシングルマザーは100万人以上おり、その世帯年収は一般家庭の世帯年収の3分の1以下と言われております。子どもの成長期にシングルマザーの子どもは一人で過ごす時間が多いため、家庭内での会話をする時間も少なく社会とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会が少なく、その結果、一人親の元で育った子どもの犯罪率が高いという悲しい現実があります。家庭の中に大人が一人だけだと、子どもに出来ることも限られてしまい、シングルマザーの子どもの生活の安心安全の向上には、シングルマザーの経済的な自立が必須であります。

資本金 1,200 万円※出資金額：1,000 万円

事業概要：親が貧困だと子も貧困状態になるという現実を解決すべく、職（仕事）・食（食育）・住（住環境）の支援を行います。

- ・シェアハウス事業(シングルマザー向けシェアハウス運営)
- ・シェアタイム事業(シングルマザー・シングルファザー・プレシングルマザー(予備軍)への家事支援子育て支援・物品支援・経済支援)
- ・自立支援事業 (シングルマザー就業支援・自立教育) シングルマザーへの教育

④株式会社百笑の暮らし (ユヌスソーシャルビジネス)

社名 株式会社百笑の暮らし

山本亮 (みんなの夢 AWARD 7ファイナリスト)

株式会社百笑の暮らし設立 (ユヌスソーシャルビジネス)

事業目的

1. 里山の食を味わえる飲食店の経営
2. 里山に暮らすように過ごせる宿の経営
3. 里山体験プログラムの企画・運営
4. 里山資源を活かした商品企画・製造・販売
5. 暮らしを楽しむためのイベントの企画・運営

6. 里山の再生と地域づくりに関する事業

7. 前各号に付帯又は関連する一切の事業

株式：発行株式総数 1000 株（普通株式 500 株、優先株式 500 株）

株主（発起人）資本金 800 万円

一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ（78 株 390 万円）

（４） その他 法人サポーター制度に関して

当社団の活動の主旨に賛同していただいた方に、ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズの法人サポーター（協賛）になっていただき、下記の区分により会費を頂きます・法人サポーターについて 会費（年額） 50,000 円

・募集体制：募集方法は、人的ネットワーク、公式 HP などを通じて法人の協賛を行っています。

■法人サポーターを募集しました。共催イベント「みんなの夢 AWARD 8」のサポート企業にお声かけを行い、13 社の応募・会員となりました。

【平成 30 年度サポーター企業 13 社】

石坂産業株式会社 株式会社カヤック キューピー株式会社 サントリー酒類株式会社
三陽物産株式会社 昭和リース株式会社 野村證券株式会社、
ハウス食品グループ本社株式会社、ワタミ株式会社 SFPホールディングス株式会社
株式会社極洋 スターゼン株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

以上